

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名	かかりつけ医等の推進事業							予算事業名	緊急医療体制事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	医療法			
			04	01	02	11	経常経費					
総合計画体系	1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分	主要事業			
	1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）											
	③地域医療体制の充実							担当課係等	健康増進センター			
2地域医療の推進							健康増進係					
事業期間	継続（平成29年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
日常の健康管理や少しの体調の変化などについても気軽に相談できる身近な主治医「かかりつけ医」をもつことで，自分自身で健康を管理できる。							在宅医療，介護連携推進事業について，平成30年4月までに全市町村が取組むことが義務化された。在宅医療を推進するには，「かかりつけ医」の果たす役割は大きい。					
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】					
医師会と連携し「かかりつけ医」について普及啓発を図るための広報活動。 地域医療発展のための講演会開催（定住化自立圏事業）。							市民					
							【事業をとりまく環境の変化】 少子高齢化が進展し，地域包括ケアシステムの構築は急務である。その要である地域医療の推進には，「かかりつけ医」をもつことであり，厚生労働省では平成17年度より「かかりつけ医」を推奨している。					
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】				
「かかりつけ医」等のチラシ配布。医師会と連携し病診連携の推進。（医師会の後方支援）				「かかりつけ医」等のチラシ配布。医師会と連携し病診連携の推進。（医師会の後方支援）				「かかりつけ医」等のチラシ配布。医師会と連携し病診連携の推進。（医師会の後方支援）				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	243	247			
歳入計（千円）		243	247			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	11 需用費	243	247			
歳出計（千円）（A）		243	247			
伸び率（％）			1.64			
備考	総合計画 51 ページ 予算書 97 ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	チラシ配布数	枚	目標	19,000.00	19,000.00	190,000.00
			実績	18,000.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	かかりつけ医がいる割合	%	目標	60.00	70.00	70.00
			実績	68.30	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域医療を充実させる必要があり、外来機能の分化に関する医療保険制度上の措置として「かかりつけ医」は重要な役割を果たすため、必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	医師会と行政が連携して推進すべきこと。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	「かかりつけ医」をもつことのメリットを伝える方法としては、チラシ配布は妥当だが、他にも方法はいくつかある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	普及方法については検討している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民全体に関わるものであり、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	市民の意識を向上させるため、定期的な啓発が必要である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画的に進めている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
地域医療の充実には、はじめに「かかりつけ医」の普及啓発を図り市民の意識を向上させる必要がある。同時に、病診連携、診診連携の体制を強化し、病気になっても市民が安心して暮らせる地域を目指す。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
「かかりつけ医」をもつことで、予防を含め、日常の健康管理、適切な診断や医療機関の紹介等につながっていくため、医師会としっかり連携し地域医療を推進していく必要がある。さらに、市内で完結せず近隣との連携も視野にいれ地域医療を充実させる必要もある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） かかりつけ医の普及・定着を図るため、市民への啓発活動を継続して実施していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。